

第3回和歌山県立夜間中学設置準備委員会（協議概要）

1 日 時 令和6年8月28日（水） 13:30～15:00

2 会 場 新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」会議室

3 協議内容

- (1) 第2回和歌山県立夜間中学設置準備委員会の振り返り
- (2) 和歌山県立夜間中学設置基本計画（案）

4 議事概要

○本県における夜間中学設置の必要性

（委員）令和2年の国勢調査の結果が示されているが、義務教育未終了者は東牟婁地方全体で何人ぐらいか

（事務局）県全体では9,286名、その内東牟婁地方は821名となっている

○設置主体及び設置形態

（委員）単独校ということは管理職や養護教諭も配置されるのか

（事務局）そうである。国の定数に基づいて配置される

（委員）教員の数は具体的にどれくらいに決まるのか

（事務局）令和7年度の早い段階で検討し、最終7年度末に決まることになる

○開校時期

（委員）令和8年4月を目途に開校と書いているが、8年以外になることもあるのか

（事務局）基本的には令和8年4月を予定している

○対象生徒

（委員）県内在住又は、県内で働いている人となっているが、県内全域でよいか。和歌山市立夜間中学との棲み分けはどうなっているか

（事務局）今のところ、県内在住であれば対象と考えている

（委員）国籍等は問いませんとなっているが、どのような方でも外国籍の方は受け入れるということか

（事務局）自国でも日本の義務教育に相当する教育を受けていない人は対象となる

（委員）学齢期の中学生の受け入れについて、今後も検討するとなっているが、制度的に可能なのか

（事務局）所属している中学校に在籍のまま教育支援センターのように受け入れている学校はある

○修業年限

（委員）原則最長9年となっているが、和歌山市も同じか

（事務局）先日開催された和歌山市のシンポジウムでは、9年と発表していた

○通学方法

（委員）登下校だけバスを出すなど、検討しているか

（事務局）通学用のスクールバスや、タクシーを走らせるなど、情報を収集しながら、どのような方法が夜間中学に適しているか、検討している

（委員）那智勝浦方面の電車は20時台、21時台がない。夜間中学ができることにより、電車が走ることで、高校生や地域の方にとってもプラスになる

○その他

（委員）

- ・教室内、校舎の外観等、きれいにしてほしい。学ぶという気持ちをもてるような環境づくりが大事である
- ・校名を公募することで、皆さんに知ってもらい良い機会となる